



国会請願の全体集会でいさつをする吉田万三会長代行（5月11日）

## ロシアはウクライナからただちに撤退せよ 第40会大会の教訓に学び2万人の同盟建設を



No. 576

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟

編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4

平和と労働センター・全労連会館

電話 03(5842)6461

FAX 03(5842)6462

E-mail

chian@bz03.plala.or.jp

価格 50円

### 主な記事

●国会請願行動

●私も一言 / 平野喜之

●顕彰碑 / 川上貫一

●抵抗の群像 / 平田宗男

●同盟文芸 / 短歌・俳句・川柳

ロシアの国連憲章違反のウクライナ侵略から3カ月余が経過しました。国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）によると、ウクライナ国外に逃れた難民は5月22日現在、655万2971人、人口の15%にのぼります。「ロシアは国連憲章守れ！撤退せよ」の声を国内外に大きく広げようではありませんか。

一方、ウクライナ危機に乗じて自民党は、憲法に自衛隊明記を含む「改憲4項目」を提起しました。日本維新の会は、参院選公約に「核共有」明記を検討しています。唯一の戦争被爆国日本は、核兵器禁止条約に参加せよ！ の声を高めましょう。

岸田文雄首相は、日米首脳会談でバイデン大統領に防衛費をGDP（国民総生産）比2%、11兆円規模の大軍拡を事实上公約しました。さらに、相手国のミサイル発射拠点などを破壊する「敵基地攻撃」能力の検討も約束しました。断じて許せません。

コロナ禍によつて3年ぶりの第40回全国大会では、映画「わが青春つくるともー伊藤千代子の生涯」上映運動と結んで「2万人同盟建設」へ自主目標達成の熊本、千葉両県同盟の教訓を学び合いました。増本一彦会長、針谷宏一副会長はじめ物故者のご遺族を迎えて偲ぶ集いを開催し、故人の遺志を継いで前進を誓い合いました。また、3週間余に迫つた参院選挙（7月10日投開票日）では、「野党は統一を」の声を広げて改憲勢力に3分の2議席を許さないたたかいに取り組もうではありませんか。





の中心となる  
医師を育てる  
1933年治  
安維持法違反  
で投獄される  
が節を曲げず

業績を称える顕彰碑は、西淀病院と岡山県の生家のある阿哲郡野馳村（現在の哲西町）、89年日本共産党岡山県委員会の方々の呼びかけで建立された。

(大阪・山本一)  
たす  
しら

**頭彰碑**  
探訪 民医連運動に参加・治安維持法で投獄、戦後衆議院議員として「白髪の闘志」と呼ばれる  
川上貫一

「復帰50年」、本土と連帯のない平和な沖縄を

の周辺で土地の所有者や利用状況を調査できる「土地規制法」が施行され、情報保全隊の監視活動が強まることがある。07年には自衛隊の行動にヒントに行きつづけられ、

沖縄は今年5月15日に本土復帰50年を迎えた。50年前の1972年、琉球政府の屋良主席は、復帰に込めた願いがつまつた「建議書」を日本政府に出した。とくに訴えたのは、①平和憲法のもとでの基本的人権の保障。②基地がない平和な沖縄の実現であった。しかし、自民党政権は「建議書」が届く直前に「返還協定」を強行採決、県民の願いを踏みにじつた。

復帰後の沖縄の日常はどうか。

2004年に普天間基地の大型ヘリが沖国大に墜落。16年には元海兵隊員による女性殺害事件が起きた。20年には普天間飛行場から有毒物質を含む泡消火剤が基地外に流出した。復帰前と同様、事件、事故、騒音が相次いでいる。辺野古新基地建設が強行され、自衛隊の「南西シフト」が奄美から宮古・八重山まで琉球弧全体ですすみ、情報保全隊が配置された。

重大なことは、自衛隊基地など

隊の活動に批判的な市民の動向が調べられ、個人情報を記したリストが作成されていたことが明らかになった。まさに、「治安維持法」「特高警察」の再来・復活だ。断じて許してはならない。

「大和捨て石、アメリカ・キー

ストーン、わした沖縄平和の礎」

これは、昨年10月に亡くなった沖縄違憲共闘会議の有銘政夫議長が詠んだ「琉歌」である。沖縄は、あの太平洋戦争で日本に「捨て石」にされた。戦後はアメリカの戦争の「太平洋の要石」にされた。沖縄は「捨て石」でも「要石」でもない。「平和の礎」なのだ。

そういう気持ちがこめられている。玉城知事は復帰50年の節目にあらたな「建議書」を作成。「基地のない平和な沖縄を望む。4人が犠牲になつた沖縄戦を経験した県民の切なる願いだ」と強調している。沖縄県本部も、全国のみなさんと連帯して闘いぬく。



「ない」のにデッチあげの「自白調書」を作成されて、起訴、収監。「1年3ヶ月、零下30度の酷寒の独居房につながれた」と声を詰ました。

この日、持参した赤い帽子をかぶつた自画像の絵について、質問され、「天皇の赤子にされて命を軽んぜられたことを考へると腹が立つた。アカと呼ばれ、忌避された悔しい思いをこめて描いた絵です」と。「共に逮捕され獄舎にいた松本五郎さん（2020年逝去）は無二の親友だったが『俺の分もがんばってくれ』と託された。その思いを国会議員の皆さんにお話しできてうれしい」と話しました。

阿部議員らは、「貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございます」「菱谷さんらを弾圧した治安維持法が形を変えて戦後も生きているんですね」などの感想をかたり、労をねぎらいました。



氏も感動  
良一氏さん  
22日旭川市  
貰し感動と  
ものではな  
一と当時を  
は「懐かし  
ました。  
け  
性活動家で  
法弾圧犠牲  
映像化に全  
し、広範な  
人びとへ  
鑑賞をと  
呼びかけ  
ています。  
この間、  
製作支援  
の「上映  
債権」5  
60口を  
集約。そ

壮大な第二次上映運動へ

**壮大な第二次上映運動へ**  
こうした前進に支えられ、国際同盟は、参院選後に第2次上映運動の設定を呼び掛けました。



埼玉県川口市4月23日、314人  
上に組織  
建設と結  
合した第  
一次上映  
運動を4・  
15から6・  
12大会期  
までと呼

「わが青春つきるとも」感動の上映会2万人超える

「わが青春つきるとも」感動の上映会2万人超える

全会員が鑑賞し、広範な人びとへよびかけよう

拷問体験者・菱谷良一氏も感動

国会請願参加の菱谷良一氏さん

(100歳)は、5月22日旭川市

近くの東川町会場で鑑賞し感動と共に「刑務所はあんなものではない。もっとひどかった」と当時を語り、編笠のシーンでは「懐かしいな」とつぶやいていました。

全会員の鑑賞を呼びかけ

同盟中央本部は、女性活動家で最初の3・15治安維持法弾圧犠牲者の一人伊藤千代子の映像化に全

面協力、全会員が鑑賞し、広範な

人びとへ

鑑賞をと呼びかけ

ています。

この間、製作支援

の「上映債権」5

60口を集約。そ

壮大な第二次上映運動へ

こうした前進に支えられ、国際

同盟は、参院選後に第2次上映運動の設定を呼び掛けました。

長野県飯山市4月24日、112人

運動を4・建設と結びかけ、5月末現在、41都道府県で250上映会が計画されています。民主勢力総力で取り組みが進み各地の上映会は予定数を上回り、会場ではこもごも感動と決意を語り合う姿が見られました。鑑賞者はすでに2万人を超えて、同盟への入会者が生まれています。

また、中・高校生、青年層の鑑賞も進み「私も伊藤さんのように志をしつかりともちたい」(塩居市・高校生)などの感想が多く寄せられ、青年組織が独自に上映会を持てるよう支援が広がっています。

会場ではこもごも感動と決意を語り合う姿が見られました。鑑賞者はすでに2万人を超えて、同盟への入会者が生まれています。

また、中・高校生、青年層の鑑賞も進み「私も伊藤さんのように志をしつかりともちたい」(塩居市・高校生)などの感想が多く寄せられ、青年組織が独自に上映会を持てるよう支援が広がっています。

会場ではこもごも感動と決意を語り合う姿が見られました。鑑賞者はすでに2万人を超えて、同盟への入会者が生まれています。

また、中・高校生、青年層の鑑賞も進み「私も伊藤さんのように志をしつかりともちたい」(塩居市・高校生)などの感想が多く寄せられ、青年組織が独自に上映会を持てるよう支援が広がっています。

会場ではこもごも感動と決意を語り合う姿が見られました。鑑賞者はすでに2万人を超えて、同盟への入会者が生まれています。

## 「復帰50年」、本土と連帯し、基地のない平和な沖縄を

沖縄県本部会長 村山純

沖縄は、今年5月15日に本土復帰50年を迎えた。50年前の1972年、琉球政府の屋良主席は、復帰に込めた願いがつまつた「建議書」を日本政府に出した。とくに訴えたのは、①平和憲法のもとの基本的人権の保障。②基地のない平和な沖縄の実現であった。しかし、自民党政権は「建議書」が届く直前に「返還協定」を强行採決、県民の願いを踏みにじつた。復帰後の沖縄の日常はどうか。

2004年に普天間基地の大型ヘリが沖国大に墜落、16年には元海兵隊員による女性殺害事件が起きた。20年には普天間飛行場から有毒物質を含む泡消火剤が基地外に流出した。復帰前と同様、事件、古新基地建設が強行され、自衛隊の「南西シフト」が奄美から宮古・八重山まで琉球弧全体ですすみ、情報保全隊が配置された。重大なことは、自衛隊基地など

の周辺で土地の所有者や利用状況を調査できる「土地規制法」が施行され、情報保全隊の監視活動が強まることがある。07年には自衛隊の活動に批判的な市民の動向が調べられ、個人情報を記したリストが作成されていたことが明らかになった。まさに、「治安維持法」「特高警察」の再来・復活だ。断じて許してはならない。

「大和捨て石、アメリカ・キーストーン、わした沖縄平和の礎」

これは、昨年10月に亡くなつた沖縄違憲共闘会議の有銘政夫議長が詠んだ「琉歌」である。沖縄は、あの太平洋戦争で日本に「捨て石」にされた。戦後はアメリカの戦争の「太平洋の要石」にされた。沖縄は「捨て石」でも「要石」でもない。「平和の礎」なのだ。そういう気持ちがこめられている。

玉城知事は復帰50年の節目にあらたな「建議書」を作成。「基地のない平和な沖縄を望む。4人に1人が犠牲になつた沖縄戦を経験した県民の切なる願いだ」と強調している。沖縄県本部も、全国のみなさんと連帯して闘いぬく。

\*同盟文芸の投稿締切は前月15日（必着）です。



葉を述べました。



## 九州の民主的医療運動の先頭に立つた平田宗男

ひらたむねお

平田宗男は、1910（明治43）年、宮崎県えびの市加久藤うまれ。

父方の祖父は島原有馬藩の下級武士で、廢藩置県で禄を失い、小さな土地を求めて平家の落人伝説で知られる熊本県球磨郡の五家荘に移住し、開墾生活。

母方も天草出身で、天草の乱で知られるように瘦せた土地に重税が重くのしかかり維新後、土地を捨てて球磨郡黒肥地村に移住。父と母はそこで出会いて結婚、宮崎県えびの市加久藤で小さな呉服店を営む。しかし人の好い父は騙されて店を失い、再び球磨郡黒肥地村に帰った。

そこも安住の地ではなく、さらに親戚を頼って長崎市に転居。そこはさまざまな最下層民の住居が密集するスラムのようなところで、父親は慣れない床屋の見習い、母親も船に石炭を積み込む

ニズムに接したことがのちにマルクス主義に近づいた要因になった、と回顧している。

27（昭和2）年、一家を盛り立てるために医師になろうと決意し熊本の第五高等学校（五高）の理乙（医師コース）に入学。その秋、五高社研に参加した。

28年秋、無産者新聞を配布して特高に検挙される。さらに29年、満州侵略に反対するステッカー「帝国主義戦争反対、社会科学研究会万歳」を熊本市内に貼つて熊本市の警察署に拘留（「4・16事件」）、ひどい拷問を受け、一力

月後に釈放されたが、五高は退学処分となつた。その後に前年に設立されたばかりの私立九州医学専門学校（現久留米大学医学部）に入学。そこでも社研に入り、それが学校当局に知れて退学処分になりかけたが、当時の学長と学長夫人の説得と特別の計らいで退学を免れ、卒業することができた。卒業ののち、医師免許を取得。43年、陸軍輸送船團に入隊。敗戦前に内地に上陸して、戦死を免れた。

55年、全国民医連理事、九州医連初代委員長となり、九州における民医連運動の基礎を築く。また別の計らいで退学を免れ、卒業することができた。卒業ののち、医師免許を取得。43年、陸軍輸送船團に入隊。敗戦前に内地に上陸して、戦死を免れた。

60年、「三池大闘争」に民医連会長として、九州における精神科医連の充実、発展に尽力す。

66年、国会に呼ばれ、「三池C炭鉱大爆発によるCO<sub>2</sub>中毒、興國人絹八代工場のCS<sub>2</sub>中毒患者検診にとりくみ、日本で初めてC支援団長として参加。64年、三池

S<sub>2</sub>中毒の労災認定を勝ち取る。66年、国会に呼ばれ、「三池C



支部は、5月4日、兄の田中サガヨさんは、1935年5月14日、24歳10ヶ月の若さで、治安維持法の弾圧で命を奪われた日本共産党员の女性です。

下関支部の岡藤和代さんは「今年はたくさんで参りましたよ」と報告し涙を浮かべていました。

國賠同盟山口県本部と下関支部は、5月4日、兄の田中サガヨさんは、1935年5月14日、24歳10ヶ月の若さで、治安維持法の弾圧で命を奪われた日本共産党员の女性です。

## 田中サガヨの墓前祭開催 同盟山口県本部と下関支部

堯平さん（日本共産党元衆議院議員）が建てたお墓の前に引き出で、留置場でチリ紙に走り書きした手紙を残した田中サガヨさんは、1935年5月14日、24歳10ヶ月の若さで、治安維持法の弾圧で命を奪われた日本共産党员の女性です。

サガヨさんと親戚にあたる、下関支部の岡藤和代さんは「今年はたくさんで参りましたよ」と報告し涙を浮かべていました。

下関支部の岡藤和代さんは「今年はたくさんで参りましたよ」と報告し涙を浮かべていました。

山口県本部は、伊藤千代子さんの映画上映を県内3カ所で予定しており、この映画上映会を成功させること、治安維持法で弾圧された人々のことを知つてもらい、国へ賠償を求めることが、今年は25人が参加し墓前に「ウクライナ情勢は深刻です。日本を再び戦争の道を歩ませてはいけません。私たちが引き継ぎます」と誓いました。

サガヨさんと親戚にあたる、下関支部の岡藤和代さんは「今年はたくさんで参りましたよ」と報告し涙を浮かべていました。

## 事務局日誌

和田庸子さんが死去  
中央常任理事の和田庸子さん（66）は5月26日死去しました。  
謹んでご冥福をお祈りします。

	5月1日	5月3日	5月6日	5月11日	5月12日	5月15日
中央メーデー	改憲發議を許さない憲法集会	平和行進出発集会	国会請願	三役会議	増本会長宅弔問	「不屈」編集会議
伊藤千代子	伊藤千代子	伊藤千代子	伊藤千代子	伊藤千代子	伊藤千代子	伊藤千代子
田中サガヨ	田中サガヨ	田中サガヨ	田中サガヨ	田中サガヨ	田中サガヨ	田中サガヨ
など	など	など	など	など	など	など

へ要請

2022年春季号(43号)

## 『治安維持法と現代』

好評発売中



【主な内容】<巻頭論文>「日本学術会議会員任命拒否から1年半=広渡清吾、「國體について」=前川喜平、<情勢学習>「維新」自公政権の悪政の中、総選挙躍進の謎=西谷文和、帰路に立つ「連合」—新会長の野党共闘批判=青山悠、「歴史戦」とは何か—そのねらいと歪曲された歴史認識=山田敬男、改憲策動に立ち向かう構え=内藤功、岸田内閣の危険な防衛政策、軍拡予算=千坂純、大自然と県民の鬭いが阻む新基地建設=早坂義郎、《文化・芸術》縄文時代研究—考古学と唯物史觀=勅使河原彰、日本最古の鉄道遺跡=山沢猛、さようなら小三治さん、寂聴さん=澤田勝雄、《治安維持法下の鬭い・同盟活動》治安維持法で弾圧された宗教者たち、映画評「わが青春つきるとも一伊藤千代子の生涯」。

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。